

好きなことがない

2025.5.15

「好きなことがない」という人も、心の中を覗いてみれば、「やりたい」「これが好き」といった種が何かしら見つかるはずです。

本を読んでいたら、上記の文と出会った。ずっと種を探している。好きなこと、やりたいことはないかと考えている。だが、見つからない。

ふと、考えることがある。中学校の学習では、教科というものがある。よく5教科という。国語・社会・数学・理科・英語である。受験教科ともいう。一方、9教科というものもある。5教科に音楽・美術・技術家庭・保健体育を加えたものである。通信票には、9教科の成績が入る。高校入試の調査書にも、9教科の成績が記入される。

人には、たいてい得意不得意というものがある。中には、9教科満遍なくできる人がいる。多くの人は、得意な教科があれば、苦手な教科もあるのではなかろうか。我が身を振り返ってみる。好きな教科はというと社会しかなかった。そもそも勉強というものが好きではなかった。それでも、5教科は受験教科でもあるし、やらなければいけないものと認識していた。

では、音楽・美術・技術家庭・保健体育はどうだったのか。テストがあるし、一応のことはやっていた。だが、この中に好きな教科はなかった。得意なものもなかった。これが、ずっと人生に影響を及ぼしているように思う。趣味がない、趣味ができないことも、この4教科に起因しているような気がする。

高校、大学、そして若いちは、そんなことは考えてこなかった。考える必要もなかった。しかし、年を重ねるうちに、趣味がほしいなあ、好きなことがないなあと考えるようになってきた。中学校の4教科の中に、一つでも好きな教科、得意な教科があれば、また違っていたのかもしれない。いや、一つの教科のある分野だけでもいい。好きなものが一つでもあれば、違った人生になっていたかもしれない。

思うに、音楽・美術・技術家庭・保健体育は、人生を豊かにするものなのかもしれない。その教育的効果は、後になってからじわじわと表れてくるものなのではないか。中学校のときに、少しでも種を見つけておけば、見つかっていれば、今頃は好きなものがあったかもしれない。残念ながら、今となっては後の祭りである。

相変わらず、好きなことは見つからない。4教科がだめならば5教科のほうから種探しをしてみるか。そうなると、かなり限定されてしまう。今一度、自分の心の中をじっくりと覗いてみることにする。これから的人生を少しでも豊かなものにするために。